

令和7年度 下越地区中学校柔道大会要項

1	主 催	新潟県中学校体育連盟 下越中学校体育連盟
2	共 催	胎内市教育委員会 胎内市スポーツ協会
3	主 管	阿賀野市胎内市北蒲原郡中学校体育連盟
4	会 場	ふれすぽ胎内 アリーナ
5	期 日	令和7年6月20日 (金)、21日 (土)
6	日 程	6月20日 (金) 開場・受付 7:30 会場準備 8:00～9:00 ※準備をお手伝いいただける学校はご協力お願いします。 計量 (団体戦登録メンバー優先) 9:10～9:40 審判・監督会議 9:50 開始式 10:30 競技開始 終了 11:00 (男女団体戦) 6月21日 (土) 開場 7:30 計量 7:40～8:10 審判・監督会議 8:20 競技開始 9:00 (男女個人戦) 後片付け開始 15:45 終了 16:30 (出場人数によって変動)

7 参加資格

- (1) 団体戦、個人戦ともに試合に出場する選手は、学年間わず柔道経験が6ヶ月以上で、十分に試合を行える技量を有する者とする。
- (2) 選手は当該校の校長が承認した生徒であること。もしくは、新潟県中学校体育連盟から承認された地域クラブ活動に所属している中学生であること。
- (3) 団体戦は、男女とも各校・各団体1チームとする。
 - ① 男子チームの人数は、監督1名・コーチ1名・選手7名以内とする。
(選手3名以上いれば出場可)
 - ② 女子チームの人数は、監督1名・コーチ1名・選手4名以内とする。
(選手2名以上いれば出場可)
- (4) 個人戦は、男女各階級ともに人数制限なしとする。体重区分は次の通りとする。

① 男子	・ 50kg 級=50kg 以下	・ 55kg 級=50kg 超～55kg 以下
	・ 60kg 級=55kg 超～60kg 以下	・ 66kg 級=60kg 超～66kg 以下
	・ 73kg 級=66kg 超～73kg 以下	・ 81kg 級=73kg 超～81kg 以下
	・ 90kg 級=81kg 超～90kg 以下	・ 90kg 超級=90kg 超
② 女子	・ 40kg 級=40kg 以下	・ 44kg 級=40kg 超～44kg 以下
	・ 48kg 級=44kg 超～48kg 以下	・ 52kg 級=48kg 超～52kg 以下
	・ 57kg 級=52kg 超～57kg 以下	・ 63kg 級=57kg 超～63kg 以下
	・ 70kg 級=63kg 超～70kg 以下	・ 70kg 超級=70kg 超

8 申込

- 印刷+職印：5月12日（月）16時必着。当該郡市中体連事務局に参加料を添えて申し込む。
EXCELデータ：猿橋中学校 阿部義弘までメール送信。【アドレス yotokaab@gmail.com】
※コピー&ペーストして使うので、手書きやPDFデータではなくEXCELデータで送付すること。申し込み後の階級の変更は認めない。
- 9 組み合わせ 5月14日（水）13:30より、新発田市立第一中学校にて組み合わせ抽選会を下越地区柔道専門委員が行う。

1 0 競技規則

「2025-2028 国際柔道連盟試合審判規程」、「国内における少年大会特別規程(2025. 4. 1 改正)」、ならびに本年度の全国中学校柔道大会の規定に準ずる。

1 1 競技方法

〈団体戦〉

- ① 男女ともトーナメント方式で行い、男子は敗者復活戦方式を取り入れて順位を決定する。女子は県大会への出場はオープンであるため、敗者復活戦は取り入れないが、参加校が7校以下の場合は、敗者復活戦方式を取り入れて順位を決定する。
- ② 男子は、1チーム5人制、女子は3人制により試合を行う。(男子は選手3名以上、女子は選手2名以上いれば団体戦に出場できる。)
- ③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代選手に入れ替えた場合においても同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- ④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(GS、ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑤ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「**有効**」又は「僅差(指導差2)」とする。GSにおいては、最初に得点を得た選手が勝ちとなる。また、指導差がついた時に指導が多い選手が負ける。
- ⑥ 優勢の成り立ちは以下のとおりとする。
「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「**有効**」 > 「僅差(指導2差)」
- ⑦ 勝敗は、次の方針によって決定する。
 - ア チーム間による勝ち数による。
 - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
 - ⑧ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本線で得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決定する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

〈個人戦〉

- ① 男女ともトーナメント方式を行い、敗者復活戦方式を取り入れて順位を決定する。
【完全ダブルリペチャージ】
- ② 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。ただし、参加人数によって試合時間の短縮もあり得る。
- ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「**有効**」「僅差(指導2差以上)」とする。得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決定する。

1 2 表彰

団体：男女とも3位まで表彰する。(個人用の賞状も授与する)

個人：男女とも上位8人を表彰する。

1 3 県大会出場資格

男子団体：上位4校が出場できる。

女子団体：フリー参加

男女個人：上位4名が出場できる。ただし、「男子50kg級」「男子55kg級」「男子60kg級」「男子66kg級」「男子90kg級」「男子90kg超級」「女子40kg級」「女子52kg級」は上位5名が県大会に出場できる。(3位決定戦で敗退した選手同士による5位決定戦を行う)

1 4 その他

- ① 監督は申込時、体重測定を厳正に行い、責任をもって登録用紙に記入すること。
- ② 団体登録選手の計量は、先鋒→…→大将→補員の順に行い、男女ともTシャツ柔道着ズボン着用で計量する。個人戦の計量も団体戦と同じ服装で行うが、ヌード計量を希望する場合は申し出ること。その場合は別室で計量を行う。
- ③ 個人戦のみ出場する選手の体重測定は、1日目の団体戦計量後の時間と2日目の7:50～8:20に行う。時間内であれば複数回計測可能。
- ④ 個人戦の申込書には、出場選手全てに必ず学校名・チーム名を記入する。
- ⑤ 全ての選手は、柔道着に規定の背ゼッケンを付けること。柔道着の大きさはIJF柔道着規定に沿ったものとする。また、全柔連認定柔道着であること。県大会においても、全柔連認定柔道着でなければ出場できない。
- ⑥ 県大会申込時の男女個人戦3位2名のシード順位決定については抽選を行う。
- ⑦ 陸上競技と水泳で県大会出場を決めていた選手で、柔道での県大会出場を決めた場合には、陸上競技と水泳を辞退し、柔道での県大会出場を優先する選手であること。
- ⑧ 生徒指導に関しては、下越中体連の申し合わせ事項に従うこと。